

当院で行われる研究について

【研究名称】

SQUEEZE 研究

【使用する情報の利用目的】

手術後に血管作動薬を用いる頻度や、それらの使用による手術後の合併症の発生について調査研究し、今後の医療の助けとする。

【利用し、または提供する情報の項目】

以下の項目について、観察および検査を実施し、そのデータを本研究に利用します。これらはすべて日常診療で実施される項目であり、その頻度も日常診療と同等です。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、体格、病歴、手術概要、麻酔概要、術後経過
- 2) 循環動態：血圧、脈拍
- 3) 血液検査（術前）：クレアチニン、アルブミン、ヘモグロビン
- 4) 術中血管作動薬の使用状況、輸血輸液状況
- 5) 術後合併症（呼吸器系、心血管系、腎臓、消化器、感染、外科的）
- 6) 血管作動薬を術後 24 時間以上後から開始されたか、退院日、予後

【利用する物の範囲】

令和 2 年春から令和 3 年春までに当院で手術を受ける患者さんが対象となります。上記の情報は全て匿名化し、本人が特定できない形で研究代表機関に送られます。研究代表機関では、各施設から送られてきたデータを集積・解析して、上記目的のために利用します。

研究代表機関: European Society of Anaesthesiology; Rue des Comediens 24, 1000 Brussels, Belgium

【情報の管理について責任を有する者の氏名】

国際医療福祉大学 三田病院 グループ麻酔科センター長 倉橋 清泰

【研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること】

研究対象者が識別される情報は取り扱いません。本研究に参加したくない場合には以下へ申し出て頂くことにより、当該研究対象者の情報は本研究に利用されません。

【研究対象者またはその代理人の求めを受け付ける方法】

国際医療福祉大学 三田病院 麻酔科

住所: 東京都港区三田 1-4-3; 電話: 03-3451-8121 (代表) 電話は平日 8:30-17:30